

放課後等デイサービス評価表（事業所向け）

評価時期：平成31年4月～令和2年1月

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	【意見】	意見を踏まえ検討した対応 (改善目標・工夫していく点など)
					①・・・「はい」に対するご意見 ②・・・「いいえ」に対するご意見 ③・・・「どちらともいえない」に対するご意見	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	1	①学習等課題活動スペースと自由活動スペースを分け、課題に集中できるようにしています。 ①制度上必要とされている以上の面積を確保しています。 ①課題活動と自由活動のスペースを分けて支援に取り組んでいます。	現在の広々とした環境を維持できる様に、日々の清掃と整理整頓に努めます。 利用定員と基準上必要な面積の関係を全職員が把握できる様、管理職だけでなく一般職員へも制度に関わる研修を取り入れていきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	6	0	2	①制度上必要な配置以上の職員数を配置しています。	基準上必要な配置数を全職員が把握できる様、管理職だけでなく一般職員へも制度に関わる研修を取り入れていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2	1	①建設の際にバリアフリーを意識し建てられています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	2	①定期的に会議を設定し、職員個々が意見を出し合い振り返る機会を設けています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	①アンケートだけではなく、日々の連絡帳や個別面談を通して意向を確認するように努めています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	①法人HPにて行っています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2	1	②第三者評価は行っていません。	第三者評価についての説明を全職員に行います。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	1	①法人内部、法人外部の各種研修に積極的に参加しています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	①利用開始前に2回の体験と面談を行う中でアセスメントを行っています。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	1		千葉県の児童発達支援管理責任者研修で使用するアセスメントシートを利用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	1	①活動が毎日コロコロ変わる事がストレスになる場合もある為、個々の状況を鑑みて個別課題の設定や自由活動の促しを行っています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	1	①平日は個別課題・おやつ・自由活動と大きな流れがあります。休日や学校の下校時刻が早い日には公園などにお出掛けする事もあります。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	①利用開始前の2回の体験を通して、「好きなこと」「苦手なこと」等を探っていきます。その中で「18歳（高等部卒業）を見据えて今なにが必要か」をご家族と話し合いながら、個別課題・日常生活課題を設定し計画を作成しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	①毎日ミーティングを行っています。	
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1	4	①送迎等で遅くなった場合には、当日の振り返りが難しいですが、翌日のミーティング時に振り返りを行っています。 ②翌日にミーティングで行っています。 ③翌日の打合せの時に前日の気になる点などを話し合っています。 ③勤務の都合上、支援終了後に全員が顔を合わせる事が難しい場合もありますが、適宜確認し翌日のミーティングへ繋げる様にしています。	個々の勤務の都合上、支援終了後の検討は難しい為、翌日のミーティングで行います。	
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	①活動記録を細かく分けて（送迎・個別課題・おやつ・自由活動）わかりやすい様に記載し、支援の検証・改善に繋げています。		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	①決められた月にモニタリングを行い、計画の見直し等の判断をしています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8	0	0	①個別課題・日常生活課題を計画の中で設定し支援しています。自由活動の中で絵をかいたり、物をつくったり等の創作活動や「秋まつり(地域交流)」へ向けての準備をしています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	1	①児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	0	0	①学校からの行事予定表をもとに下校時刻を確認しています。各学校と連携をとり、トラブル時には対応しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	0	3	①現在は対象者がいませんが、医師の診断書や検査結果などを利用開始前に提出頂き、服薬がある際にはお薬手帳などの記録も拝見し、個々の医療の状況も把握する様に努めています。また、必要と思われる際には受診同行を行っています。 ③現在は医療的ケアが必要な児童がいない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	0	1	①児童発達支援事業所から移られる児童の方の場合は、なるべく卒園前に事業所訪問をさせて頂き、現状の確認と今後の支援方法について等を共有させて頂いています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	0	1	①卒業前に実習等で障害福祉サービス事業所を利用される際にも、支援内容の共有等を適宜行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	0	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5	3	③「秋まつり」等のイベント時に交流があります。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	0	6	③地域の自立支援協議会は参加者が固定の為、参加ができません。地域の意見交換会等には参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	0	2		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	1	①児童発達支援管理責任者が契約時に行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	①個別面談時や日々の電話でのやりとり等、相談に応じています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	3	①法人創設時より「樹の実後援会」が保護者の方々の集まりとして組織されています。年1回の「秋まつり」への出店や広報誌の作成、総会などが行われています。 ③保護者会(集団での話し合いや講師を招いての勉強会など)の機会をもっと増やせるとよりよい支援に繋がると思われる。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	4	②将来的には「ワタレ育い空たまり」の様な月報(季節報でも可)が出せればよいと思われる。努力課題。 ③法人の広報誌は後援会により年1回発行しています。リトル青い空独自の広報誌は定期発行していませんが、行事などがあった際には個別で活動内容がわかる写真と文章を添付してお知らせしています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0		

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	0	0	①法人行事の「秋まつり」にて地域の方々と交流の機会を設けています。 ①「秋まつり」や隔月の「100円カレー」等、地域の方々と交流する機会を設けています。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	0	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	1	①「防災頭巾をかぶる練習」など、避難訓練に関する小さな事から日々練習しています。 ①訓練は行っていますが、その日に来ている児童のみになってしまっています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	1	①外部研修に積極的に参加し、内部研修にて報告し共有する様にしています。 ③日頃のミーティングでの検討や外部研修への参加は行っているが、全職員に浸透しているかという不安な面がある。	
非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	0	①現在のところ事例がないと思われる。対象者が在籍すれば左記の事が行える体制にあると思われる。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	2	①対象者なし。 ①利用開始時に医師の診断書や検査結果などを提出頂いています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	①いつでも記入できる(書きやすい)状態にある。いつでも閲覧できるものにした。 ①千葉市の事故報告書をフォーマットとし、閲覧スペースに配置してあり、誰でも閲覧できるようになっています。	